

令和8年(2026年)5月8日(金曜日)

# ミシマバイカモ 清流にゆらり

県の絶滅危惧種に指定されているミシマバイカモが、三島市南本町の群生地「三島梅花藻の里」で見頃を迎えている。梅の花に似た白色の小さな花が清流に揺れ、来場者の目を引いている。

ミシマバイカモは水質の悪化や水温の上昇に敏感なため「清流のバロメーター」

## GW三島 清掃活動

と言われる。一時は市内の川から姿を消したが、NPO法人グラウンドワーク(GW)三島が清水町の柿田川から移植し、1995年に三島梅花藻の里を整備して保護してきた。現在もメンバーが週に1回清掃を行い、増殖させて市内の川に移す活動を続けている。(三島支局・白本俊樹)

群生地の清掃に取り組むGW三島のメンバー  
三島市南本町の三島梅花藻の里

